

警城時報

編集長 石城郡平町新屋町十四番地 印刷所 石城郡平町新屋町十四番地

政民共二十四日頃 公認決定の總會

政友は本村氏再起か 混亂を豫想さるゝ民政派

議會は豫期の如く遂に解散となり起を見るであらうと察せられてつた。石城郡選出の代議士木村君。民政黨に於ては過般縣議

警東銀行總會

植田 警東銀行の定期總會は二十五日午後九時より同行に開催

電氣料値下げ運動

愈々持久戦に入る 先づ鐵柱街頭を廢止

二十三日第二回委員會 東部電力會社側が平町の要求を消滅滅燈街燈などの廢止案が百

仙臺稅務監督局で 酒造の實地指導

産額は非常に多いが 品質の悪い事東北一

石城郡内の酒造業は五十五名ありて廿年間動摇了たので紀念り縣下は勿論東北に於ける酒の品を贈られた。之に對し會川氏

平町役場辭令

- 書記補 渡邊 美登 四十三圓 渡邊 佐七 四十一圓 渡邊 賢雄 三十八圓 薄葉健一郎 二十五圓

奇特な行爲

會川卯三郎氏の 中町字紺屋町前町會議員會川卯三郎氏は過般縣校である草野

闘鶏賭博の首魁 二名刑務所に收容

平町橋通小路吉田廣三郎方で大すると共に一般が擴張に理解の掛りな闘鶏賭博を開帳中平議員ある様理由を聲明した事は既報

前科者惡事

石城郡高久村大字下高久字清水生れ當時住所不定無職岡部丑吉(三七)は

五千枚配布

水道聲明書 如何に沈着といへ三度に一度議なく可決されて以來主務省のは拂ひ除ける必要ありと漸く反手に移り現在交附さるゝ計りと

無免許でイタチを捕る 狩獵法違反で檢舉

平町北白銀町三十六番地杉本隆附の破藏師の石川郡母畑村生れ(五二)は昨年十二月二日頃か當時住所不定無職前科九犯大串

破藏師公判

石城郡四ツ倉町を始め同郡下の役七年を求刑して閉廷次回言渡各所を荒し廻つた東北一と折紙は二十八日。

闘鶏の趣味

平町橋通小路吉田廣三郎方で開帳された闘鶏賭博は本縣では稀に見る犯罪なので興味があり人気を呼んで居るが、この賭博は丁半賭博の如く一倍の興味があり、初めれば決してやめられぬことである

ブルと献金

田中利勝
經濟には収入と支出の二面がある。營利會社は營利のため...

新聞紙上に「献金の美譽」が報道され、献金を申込んだ者は...

その日の生活に困るこの階級が最後の一線なげなしの愛國の...

國債は誰でも知つてゐる様に、手は貸倒れのない國家で...

金解禁後 新入荷品 第一回 謝恩第一回福引付 時計大廉賣

福引付時計大出賣 弊店にて金五圓以上の時計御買上の...

常盤屋時計店 平町一丁目 電話三三九番

耳鼻咽喉科 平町仲田町七一

新築 移轉 合津醫院 電話五五九番

藤沼醫院 入院應需 電話平町七番

第七拾 決算公告 不動産部 五、八、四〇〇

Table with financial data: 資本金, 負債, 利益金處分, etc.

磐城無盡商會 昭和四年十二月卅一日

至急 電話借受たし 姓名在社

貸家あり 商店向き一ヶ所 家賃 十四圓五十錢

中野勇吉 封切二十日替り マキノ現代劇

有聲座 組の喧嘩 南光明、谷崎十郎、根岸東一郎

腸胃科 梅毒科 專門 院醫科

日照る曇る大日會 初篇ヨリ 終篇迄 三十六卷

共濟醫院 各科專門 醫學博士 井上俊次

共濟會 衛生試驗所 病氣相談所 救療所